

第1006回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年6月30日（月）午後3時00分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 清川委員 小泉委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
山元生涯学習・文化財課長 坪川競技力向上対策室長
獅子原ブランド営業課参事（恐竜王国） 渡辺文化振興課参事（文化振興）
宇野恐竜博物館利用サービス室長

4 議 題

日程第1 第16号議案 福井県立恐竜博物館運営協議会委員の任命について

日程第2 第17号議案 福井県立歴史博物館運営協議会委員の任命について

日程第3 第18号議案 福井県立恐竜博物館の管理運営に関する規則の
一部改正について

日程第4 第19号議案 福井県立若狭歴史民俗資料館に関する規則の制定および
一部改正について

5 審議事項

（1）開会宣告

（2）会議録署名人の指名 吉井委員 清川委員

（3）議事要録

委員長 本日の日程第1、第16号議案および日程第2、第17号議案について
非公開といたしたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

生涯学習・文化財課長 恐竜博物館、歴史博物館、若狭歴史民俗資料館に関する議案につ
いて、博物館法の規定により、関係条例および規則等の制定・改廃、運営
審議会の委員の任命について教育委員会の所管とされている一方で、運営
については、観光営業部に委任されているため、観光営業部の方から説明
いただく。

委員長 日程第1、第16号議案を議題

恐竜博物館利用サービス室長 資料に基づき説明

清川委員 委員を公募したが、応募者がなかったということだが、どのように広報したのか。また、前回の応募者数は。

恐竜博物館利用サービス室長 県や恐竜博物館のホームページ等で精一杯周知したが、応募者がいなかった。前回は5人の応募者があり、2名を選考した。

委員長 第16号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第2、第17号議案を議題

文化振興課参事 資料に基づき説明

清川委員 委員の公募を行わなかったということだが、どのような理由からか。

文化振興課参事 公募した委員から、あまり積極的な発言がなかったこともあり、今回は、学識経験者等を増やすことにより、専門的な見地からの意見をいただき、運営改善を行っていききたい。

清川委員 恐竜博物館と歴史博物館で、委員公募について異なっているが、どのように考えるのか。

生涯学習・文化財課長 恐竜博物館については、積極的に発言されており、今回も公募を行ったが、歴史博物館については、内容的にも難しい部分もあるためか積極的な発言が見られなかったため、公募は行わなかった。

清川委員 運営協議会で新たな企画等が決まったことがあるのか。

恐竜博物館利用サービス室長 博物館としては、どうしても学術的な展示や研究を行いがちであるが、たくさんの方が来館するため、観光地としてのサービスにも力を入れるべきであるとの意見をいただき、参考にさせていただいている。

文化振興課参事 常設展示が年代順になっておらず、分かりにくいという意見を踏まえ、展示方法を変更した。また、館内にある喫茶室が入りにくいという意見を踏まえ、出店者を公募し、利用しやすい明るい喫茶室に改善した。

委員長 第17号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

委員長 日程第1、第18号議案を議題

ブランド営業課参事 資料に基づき説明

吉井委員 常設展と野外恐竜博物館の両方を訪れる場合に、料金を割り引くことはないのか。

恐竜博物館利用サービス室長 野外恐竜博物館へは、シャトルバスでツアー形式で行くため、利用者に経費を負担していただくと、かなり高額になる。本館とのセット料金で割り引くことについても議論したが、野外恐竜博物館の料金そのものを安く抑えるということになった。

小泉委員 野外恐竜博物館の開館に伴い、人的な配置についてはどうなるのか。

恐竜博物館利用サービス室長 バスの運行等については委託を行っているが、現地での発掘体験については、研究員自らが指導するため、職員を増やした。

委員長 第18号議案について、原案に対する異議の有無を確認

———原案どおり可決———

委員長 日程第4、第19号議案を議題とする。

文化振興課参事 資料に基づき説明

吉井委員 民族資料館として古くからの農家や漁師が使う様々な道具等が展示されていたが、今後はなくなるのか。

文化振興課参事 常設展示については、祭りや芸能について展示したいと考えている。展示スペースが限られているため、常設展では漁師が使う道具等を展示できないが、企画展示室で展示したいと思う。

委員長 第19号議案について、原案に対する異議の有無を確認

———原案どおり可決———

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 教育委員会制度改革ほか国の教育改革の動きについて

委員長 本県では、現在、(教育長を含めて)教育委員が6名いるが、法改正後は教育長と教育委員は別のものであるということであれば、教育委員は5名になるのか。また、市町の教育委員数は、どのような状況か。

教育振興課長 そうなるのではないかと思う。本県の市町の教育委員数は、現在、(教育長を含めて) 5名である。

委員長 教育委員会の上部に総合教育会議が位置づけられるのか。

教育振興課長 上部ということではなく、協議・調整の場である。

委員長 これまでも知事とは意見交換を行ってきた。

吉井委員 達成度テスト(発展レベル)の導入が予定されているようだが、大学入試センター試験の何が問題だったのか。また、大学は、この結果をどのように利用するのか。

教育振興課長 センター試験は、一発勝負的な試験であることや、選択式であるため考える力を測るには課題があったことから、達成度テストでは、年2回の実施や記述式問題の導入等が検討されている。

高校教育課長 現時点では、具体的な実施方法や、各大学がどのように利用するのかなど、あまりにも不明確な点が多く、国の動きを注視しているところである。

委員長 教育委員会制度改革や国の教育行政の動きについて協議いただいたが、本県の未来を担う子どもたちの教育について、知事と教育委員会が絶えず問題意識を共有して、幅広い視点から議論を重ねることは、重要である。
国の教育改革の動きをとらえつつ、県においては、知事と教育委員会が力を合わせて、福井県の教育をさらによくしていきたいという思いは共通ではないか。
今回、制度が法的に整備されたことを、うまく活かしていくべきであると思う。

報告事項

(1) 平成27年度福井県公立学校教員採用選考試験の応募状況について(確定)

(2) 雲龍丸の活用について

(3) ふくい(291)スポーツチャレンジカードの作成について

委員長 本日の会議の終了を宣告